

# 介護労働者の業務内容と 心身の負担感に関する研究

平成 15 年度報告書

平成 14～16 年度にわたる 3 ヶ年計画の 2 年次に当たる 15 年度は、介護療養型医療施設及び介護老人保健施設の介護職を対象に調査を行った。その結果、介護業務の種類と密度を把握し、その負担感を明らかにした。

## 研究委員会メンバー

(主 査)栗 木 黛 子	田園調布学園大学 人間福祉学部 教授
(委 員)佐 藤 芳 子	田園調布学園大学 人間福祉学部 助教授
西 浦 功	日本女子大学 人間社会学部社会福祉学科 専任助手
松 原 日出子	日本女子大学 人間社会学部社会福祉学専攻博士課程後期 前 帝京大学福祉・保育専門学校専任講師
(事務局)佐 藤 昭 吉	(財)雇用開発センター 常務理事
村 永 典 生	(財)雇用開発センター 研究調査部長
荒 井 直 子	(財)雇用開発センター 研究調査部

## 目 次

第 1 章	研究の目的
第 2 章	平成 15 年度調査の概要
第 3 章	施設介護職員の労働環境
第 4 章	平成 15 年度調査の結果
第 5 章	まとめ
おわりに	
資料 1	調査集計結果
資料 2	調査票

## 調査の対象及び内容

### (1) 介護職者に対するアンケート調査

調査時期 : 平成 15 年 10～11 月

調査対象 : 介護療養型医療施設及び介護老人保健施設、計 23 事業所 621 人

回収数 : 199 人 (有効回収率 33.2%)

調査内容 : 業務密度、介護業務の認知度、夜勤、個人属性

**(2) 施設長に対するアンケート調査**

調査時期 : 平成 15 年 10～11 月

調査対象 : 介護療養型医療施設 4、介護老人保健施設 3、計 7 人

調査内容 : 施設の概要、負担が大きい介護業務、介護職の負担軽減策、介護保険実施後の変化等、個人属性